

令和元年度

第1回草津市情報化推進計画策定委員会 会議録

■日時：

令和元年9月11日（水）14時00分～15時20分

■場所：

市役所 行政委員会室

■出席委員：

西原委員、萩原委員、宇野委員、小郷原委員、小野委員、櫻井委員、中西委員、山本委員

■欠席委員：

なし

■事務局：

橋川市長、岡野部長、金森副部長、今江課長、奥村参事、本射

■傍聴者：

4名

1. 開会

- ・橋川市長あいさつ
- ・委員数8名全員の出席を確認。審議会が成立していることを確認。
- ・委員の紹介、あいさつ。
- ・事務局の紹介。

2. 委員長・副委員長の選任、職務代理者の指名

- ・委員より事務局提案を求める声あり。
- ・事務局が西原委員を委員長、萩原委員を副委員長に推薦し、一同了承。
- ・委員長、副委員長のあいさつ。
- ・西原委員長より職務代理者として小郷原委員を指名。

3. 諮問

- ・橋川市長から草津市情報化推進計画策定委員会、西原委員長へ草津市情報化推進計画について諮問

4. 議事

(1) 草津市情報化推進計画の策定方針等について

【事務局】

<資料4、5について説明>

【委員】

計画期間について、5年は長いのではないか。長い期間をとるのであれば、具体的な見直しができるタイミングを持つことと、計画期間を短くできるのであれば、短くする。きちんと追えるような仕組みづくりを組織として作ったほうが良い。

【委員】

実態と計画とのズレの補正をどこかでしないと、どんどん動きが遅くなり、後手後手になる。せつかく計画を行うのであれば、機能するようにする必要がある。

【委員】

計画の進捗状況、ズレに対しての把握と、それらを見直す期間・場が必要。

【副委員長】

総合計画との関係についてと県の計画は5年間だが、毎年見直しをかけているが、同じように考えているのか。

【事務局】

総合計画との関係については並行して策定を行う。見直しに関しては、計画期間の最終年度に見直しを行う予定。毎年、進捗状況を確認するような手続きをとっていかうと考えるはいるところ。

(2) 草津市情報化推進計画の策定スケジュールについて

【事務局】

<資料6について説明>

【委員】

パブリックコメントに対する委員会の位置づけを教えてください。

【事務局】

事務局においてパブリックコメントの結果に対して精査を行い、内容に応じて委員会への対応をして進めていこうと考えている。

5. 閉会

【事務局】

- ・次回、第2回草津市情報化推進計画策定委員会を令和元年9月26日、14時から開会することを確認する。

以上。